

説教要旨



私たち北九州シオン教会は、今年もマタイ 28 章 20 節 「見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいます。」 を教会標語として掲げています。 そしてそのことを土台とした 2 つの実りを、私はこの年に願っています。

①キリストを知る知識が増し加わる

【ペテロⅡ (1章5節) こういうわけですから、あなたがたは、あらゆる努力をして、信仰には徳を、徳には知識を、(1章6節) 知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、(1章7節) 敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。(1章8節) これがあなたがたに備わり、ますます豊かになるなら、あなたがたは、私たちの主イエス・キリストを知る点で、役に立たない者とか、実を結ばないものになることはありません。】

ペテロがここで語っているイエス・キリストを知ると言う事は、単なる知識としてではなく、キリスト体験に深く根差した経験的知識の事を言っています。そして、そのようなキリスト体験を積み重ねていく時、このペテロⅡで書かれているような品性の実が結ばれていくと聖書は語っています。

イエス様がいつも共にいて下さるという事実が体験に変わる時、それは私たちの信仰生活の中で底力となります。 私たちが主を知るために、時には苦難や試練の中を通らなければなりません。 しかしそのような中でも主が共におられ、私たちの力となって下さると信じ続ける時、聖霊様は助けを与えどのような試練も乗り越えさせて下さいます。 そしてイエス様のような愛と憤みと慈愛に満ちた者へと変えられて行きます。 私は今年度も、皆様の内にあるキリストを知る知識がいよいよ増し加わり、豊かな実を結ぶクリスチャンとなりますように願っています。

②キリストが満ち満ちている教会となる

【エペソ(1章23節 教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たすお方の満ちておられるところです。】

この手紙の中でパウロがエペソの人々に願っていることは教会の成長です。 そこでパウロが望む教会の姿とは、建物が大きいとか、優秀な人材がたくさんいると言う事ではなく、イエス様が満ち満ちている教会です。 つまりパウロが言う成長した教会とは、クリスチャン一人一人が深いキリスト体験をして、愛と平和を表していく教会の事を示しています。

私が今年皆様に願っていることは、皆様が主に与えられた賜物をさらに生かして教会に仕える事です。そして一つとなって、イエス様の光を世に示し続けていくことです。 今年は大きなターニングポイント(変革の時)を迎え、大きな期待と共に不安もあります。 サタンはそのことを付け狙って教会を誘惑してくるかもしれません。 不安や悩みごとに押しつぶされそうになり、もうだめだと思うかもしれません。 一致することが出来ないと、たくさんの出来事を通じて思うかもしれません。 しかし、主が私達と共にいてくださいます。 主が、さらなるキリスト体験をお一人お一人に与えようとしています。 そして私たちの品性が磨かれていき、キリストに似る者と変えられて行きます。 そしてその実りは、一つの大きな実となって教会に実り、宣教の実りとなっていくと私は確信します。

この文章は、私が年頭の教会総会で載せさせて頂いたものです。私はこの教会に赴任して半年になります。その中で、「イエス様のようになる」という北九州シオン教会が大切に続けたビジョンに根を下ろし、そして与えられた御言葉です。

今年、私達に働かれる御霊様によって、皆様がキリストを知る知識をいよいよ増し加えて、キリストが満ち満ちた教会を共に建てあげる事を切に願っています。